

2018年、新たな船出



表紙シリーズ：雲仙市PR(多比良港)

主な内容

P2 平成29年第4回定例会概要

P5 平成29年第1回臨時会概要

P6 常任委員会報告

P9 市政を問う「一般質問」

P15 寄附行為の禁止

P16 3月定例会会期日程(案)

平成29年 第4回定例会の概要

平成29年第4回定例会が12月4日(月)～12月22日(金)の19日間開催され、条例改正2件、補正予算5件、契約議決3件などの議案審議及び8名の議員による一般質問が行われました。

平成29年度一般会計補正予算（第5号）の主な事業

2億6千万円の増額補正で、補正後予算額は305億8千万円

○障害児通所給付事業

補正額 **1,550万7千円**

補正後 **1億5,169万円**

【事業目的】

障害児に対し、通所による基本的な動作の指導・知識技能の付与・生活能力向上のための必要な訓練給付を行う。

○民間教育・保育施設給付事業

補正額 **1億7,293万円**

補正後 **22億3,594万7千円**

【事業(補正)の内容】 教育・保育に携わる職員人件費の加算

○保育施設整備事業〔新規〕

補正額 **788万5千円**

【事業目的】

保育所や認定こども園の施設整備に要する費用の一部を補助することにより、子どもを安心して育てることのできるような体制整備を行う。

【事業(補正)の内容】

- ・フェンスの設置 (2園)
- ・防犯カメラ設置 (6園)



○新構造改善加速化支援事業

補正額 **1,043万2千円**

補正後 **2,443万2千円**

【事業目的】

農業者の経営規模拡大や高付加価値化等による農業所得の向上、担い手確保・育成並びに農山村を活性化する取組に必要な施設機械の導入を支援する。

【事業(補正)の内容】 農業用ハウス 1棟 945㎡

○南串山 うしろやまおのぼりせん 後山尾登線改良事業

補正額 **5,270万円**

補正後 **1億115万円**

【事業目的】

市道の道路幅員が狭く地域住民の通行に支障をきたしているため、拡幅改良により離合可能な幅員を確保し通行の安全性向上を図る。

【事業(補正)の内容】

工事延長 66m



産業建設常任委員会の現地調査

雲仙市奨学資金貸付基金条例の全部を改正する条例



【改正の目的】

雲仙市奨学資金制度を拡充し、若者の定住促進を図るため、所要の整備を行い、併せて文言の整理を行うための条例改正。

※本議案は、文教厚生常任委員会へ付託されましたが、審議の結果、「継続審査」となりました。
審議内容は、P7をご覧ください。

議 会 用 語 解 説

継続審査とは

会議に付された議案について、会期中に終了できず、会議で議決して付託を受けた委員会が閉会中に引き続き審査を行うことをいう。

工事請負契約の締結について（3件）

○愛野コミュニティセンター（仮称）新築工事（建築主体工事）

契約相手：宅島・柴崎・野副特定建設工事共同企業体

契約金額：12億9,600万円

○愛野コミュニティセンター（仮称）新築工事（電気設備工事）

契約相手：長崎電気・野原電機特定建設工事共同企業体

契約金額：2億6,028万円

○愛野コミュニティセンター（仮称）新築工事（機械設備工事）

契約相手：ユーアイ・高伸工業特定建設工事共同企業体

契約金額：2億714万4千円

【今後のスケジュール】

- ・平成29年12月～平成31年2月

愛野コミュニティセンター（仮称）新築工事

- ・平成31年秋頃

愛野コミュニティセンター（仮称）開所



愛野コミュニティセンター（仮称）イメージ図

平成29年第4回雲仙市議会定例会 議決結果

議案番号	事 件 名	議決結果
議案 第116号	雲仙市奨学資金貸付基金条例の全部を改正する条例について	継続審査
議案 第117号	雲仙市都市公園条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案 第118号	平成29年度雲仙市一般会計補正予算（第5号）案について	原案可決
議案 第119号	平成29年度雲仙市下水道事業特別会計補正予算（第2号）案について	原案可決
議案 第120号	平成29年度雲仙市国民宿舎事業特別会計補正予算（第1号）案について	原案可決
議案 第121号	平成29年度雲仙市温泉浴場事業特別会計補正予算（第1号）案について	原案可決
議案 第122号	平成29年度雲仙市水道事業会計補正予算（第2号）案について	原案可決
議案 第123号	公の施設の区域外設置に関する協議について	原案可決
議案 第124号	工事請負契約の締結について	原案可決
議案 第125号	工事請負契約の締結について	原案可決
議案 第126号	工事請負契約の締結について	原案可決

平成29年 第1回臨時会の概要

平成29年11月24日に第1回臨時会が開催され、議案について採決が行われました。
議決結果は次のとおりです。

議案番号	事 件 名	議決結果
議案 第113号	監査委員の選任について	原案可決
議案 第114号	教育委員会委員の任命について	原案可決
議案 第115号	教育委員会委員の任命について	原案可決

※任期は、制度によりそれぞれの委員で異なる。

教育委員会委員



もりした ゆうき
森下 祐樹 氏

平成29年12月2日
平成33年12月1日（4年間）



なかむら たえこ
中村 妙子 氏

平成29年12月2日
平成32年12月1日（3年間）

監査委員



さかい きょうじ
酒井 恭二 氏
(議会選出)

平成29年11月24日
平成33年11月19日（4年間）

人事案件

常任委員会報告

付 託 案 件	審議結果
平成29年度一般会計補正予算（第5号）案	原案可決
工事請負契約の締結 ほか3件	原案可決

本委員会に付託された左記の案件について、原案可決5件と決定しました。
主な案件の質疑等の内容は次のとおりです。

平成29年度一般会計補正予算（第5号）案

質疑 雲仙市ホームページ作成・保守委託業務の委託業者は、毎年変更されているのか。

答弁 システムの円滑な運用を目的としており、毎年、システム開発業者と随意契約を結んでいる。

質疑 他の自治体のホームページと本市のホームページを比較して、どのように感じているのか。

答弁 全国の自治体ホームページを確認できているわけではないが、本市のホームページは一般的な情報提供はできていると考えている。今後も、随時、更新に努め、改善できるところは改善していきたい。

意見 職員の企画力を発揮し、積極的に改善していただきたい。

工事請負契約の締結

◆質疑前に、愛野コミュニティセンター（仮称）新築工事に係る入札・契約方法が総合評価落札方式となっており、その入札方法について総括的な説明を受けました。

総務



雲仙市のホームページ

質疑 総合評価落札方式は、国において基準が定められており、その基準に沿って市が運用していると思うが、市は国の基準にどこまで準拠して総合評価の内容を定めているのか。

答弁 国において示されている基本的な基準に基づき、雲仙市建設工事総合評価落札方式試行要領において、総合評価の評価項目及び評価基準の標準例を定めており、個別工事ごとに具体的な評価内容を設定している。本議案の入札公告を実施する際



「愛野町公民館」解体後の状況

の評価項目及び評価基準の決定にあたっては、県の有識者へ意見の聴取を行ったうえで決定している。

質疑 評価方法について、特定建設工事共同企業体を結成されている場合、代表構成員のみを評価するのか、それとも、その他の構成員も含めた総合能力で評価するのか。

答弁 本議案の入札公告において、配置予定技術者の能力と企業の施工能力については、代表



構成員のみを評価し、地域貢献については、その他の構成員を含めて評価している。

意見 入札公告において個別工事ごとに評価方法を設定できるのであれば、共同企業体の場合は、配置予定技術者の能力と企業の施工能力においても、代表構成員のみを評価するのではなく、その他の構成員も含めた総合能力を評価する方法も入札審査委員会において、今後検討していただきたい。

常任委員会報告

付 託 案 件	審議結果
奨学資金貸付基金条例の全部を改正する条例	継続審査
平成29年度一般会計補正予算（第5号）案	原案可決
平成29年度温泉浴場事業特別会計補正予算（第1号）案	原案可決

本委員会に付託された左記の案件について、原案可決2件、継続審査1件と決定しました。主な案件の質疑等の内容は次のとおりです。

奨学資金貸付基金条例の全部を改正する条例

質疑 卒業後、5年間に住し、6年目から市内に住んでいると、1年ごとの申請により免除する議案だが、来年度に奨学金を借りた場合、9年後に免除が始まることになる。地方創生が目的ならば、もう少し即効性が必要ではないか。

答弁 20代から30代前半の結婚、出産、子育てを迎える年代に市内に住んでもらうことで定住に繋げたいと考えている。即効性を出すための見直し等については、財源等を精査しながら研究する。

質疑 財源の問題で大学生のみに限定しているとのことであるが、予算の確保があれば今後大学生以外にも検討するのか。

答弁 今回の制度は高校生の県内就職率が約24%の現状の中、雲仙市奨学金利用者の卒業後の雲仙市内における定住率は約50%と高いレベルにある一方、大学生は約30%程度に留まっているため、まずはここをターゲットにしようという考えで提案した。

質疑 この条例が可決されれば、大学生からの申し込みが増えることが予想されるが、基金が足りなくなったときの対応はどのように考えているのか。

答弁 申請希望がある以上は一般財源等からの補填をする必要があるかもしれないが、安定的に制度を維持していくためには、定員という形で一定の基準を設ける必要があると考えている。

質疑 貸付の判断基準はどのように考えているのか。

答弁 審査については、雲仙市奨学資金貸付審議会で行っており、申込者が多い場合には、例として所得の状況や家庭の事情等で順位が付けられることになると考えている。

意見 償還期間を延ばして負担を軽減することは賛成であるが、申請者が多い場合の予算の裏づけが明確にされなかったため、今後関係する部署との調整を行い、予算の確保に努めるようにすべきである。また、多くの大学生から申請があった場合

の対応について、明確な説明が不十分である。

よって、全会一致で継続審査すべきものと決定しました。

一般会計補正予算（第5号）案

質疑 民間教育、保育施設給付事業において、処遇改善加算はどのようにして行われる予定なのか。

答弁 1点目の処遇改善加算の4%から6%への変更については、一人ひとりの給与を積算するのではなく、施設給付費の中で給与改善分を算出し、その額に2%を加算した額を給付するようにしている。次に2点目の処遇改善加算については、確実に本人の給与に反映させるため、技能、経験を積んだ職員を保育園で選定してもらい、その職員の給与に毎月加算するように予定している。

文教厚生



付 託 案 件	審議結果
都市公園条例の一部を改正する条例	原案可決
平成29年度 一般会計補正予算（第5号）案	原案可決
平成29年度 下水道事業特別会計補正予算（第2号）案	原案可決
平成29年度 国民宿舎事業特別会計補正予算（第1号）案 ほか1件	原案可決

本委員会に付託された左記の案件について、原案可決5件と決定しました。
主な案件の質疑等の内容は次のとおりです

都市公園条例の一部を改正する条例案

質疑 国の法律改正に伴う条例の一部を改正する議案であるが、条例に規定されている都市公園はいくつあるのか。

答弁 千々石町の橘公園、上山公園、小浜町の小浜町公園、石合公園、みんなの広場公園の5箇所ある。

平成29年度一般会計補正予算（第5号）案

質疑 荒廃農地等利用促進対策事業補助金について、事業自体が市民にあまり知られていないように感じるが、PRはどのように行っているのか。

答弁 昨年度までは耕作放棄地対策事業という事業名でチラシを作成して配布していたが、今年度から事業名が変更されている。今後、実行組合や土地改良区等にパンフレットを作成して推進していきたい。

質疑 水ノ浦小津波見線改良事業において、5270万円も当初予算で計上していたにもかかわらず減額しているのは、地権

産業建設

者から同意も得ずに当初予算に計上していたということなのか。

答弁 当初、事業申請の際に全般的な同意書はいただいているが、収用事業として、税の特例を受けるためには、まず予算を組んで、税の協議が終わってから地権者との交渉に入るといって流れになる。よって、税の特例上、地権者と仮契約をしてから予算計上という流れではなく、税務署との協議が終わらないと本来の交渉に入れないものになっている。

意見 同意してもらえないかもらえないか分からない状態で予算化し、結果的に交渉不調だったということにならないよう事前に地権者とよく話をしておくべきである。

質疑 地籍調査事務支援システム保守委託業務について、小浜町を現在実施しているが、地籍調査は何年度の完了予定となっているのか。

答弁 平成6年度に富津地区から着手し、平成37年度完了を予定している。

意見 固定資産税は地籍調査が完了しなければ実面積で算定できないが、7町合併して既に12年が経過しているにもかかわらず、小浜町だけが遅れている状況は公平性を欠いている。事業規模に応じた人員体制も考慮しながら、1年でも早く事業が完了するように国へ働きかけるべきである。

質疑 大規模建築物耐震化事業における耐震化工事は、最終的に何年度までに着手しなければならないのか。

答弁 耐震診断の結果を報告する義務はあるが、いつまでに耐震化工事をしなければならないという規定はない。ただし、現在、耐震化事業に拡充されている補助は、平成30年度までに設計に着手した建物所有者に限り受けることができるようになってきている。よって、設計に未着手の建物所有者にはその旨を伝え、事業の推進を図っている。

平成29年度国民宿舎事業特別会計補正予算（第1号）案

質疑 施設維持管理業務等の478万3000円は、主にどのような経費か。

答弁 不法侵入を知らせる装置などの機械警備と人的警備の警備会社分の経費である。

現地調査を実施

今回の議案に関連する事業など2箇所の現地調査を実施した。



市政を問う

8名の議員が一般質問



町田 康則…P9
矢崎 勝己…P10
山本 松一…P10

上田 篤…P11
平野 利和…P11
浦川 康二…P12

林田 哲幸…P12
酒井 恭二…P13

一般質問は、質問者自身が議事録をもとに原稿を作成しています。

老朽・危険空き家対策

「空き家対策計画」の策定を



まちだ やすのり
町田 康則 議員

町田議員 平成27年5月、

全国820万戸に及ぶ空き家対策特別措置法が施行された。雲仙市でも自治会長の協力をえて、空き家調査を実施し、空き家数780戸、その内危険空き家数155戸だった。その後の、市の調査では危険空き家は104戸と聞くが何件改善されたのか。

山本市民生活部長 実際に

解体除却されたのは7件。

町田議員 市民の苦情も

あっている。このようなペースでは何十年もかかる。国も空き家対策特別措置法に基づき対策計画を作りなさいと

なっているが、できているのか。

山本部長 対策計画は、以

前議員から指摘もあったが、必要と判断し、本年度中の作成に向けて取り組んでいる。

町田議員 空き家対策計画

は、撤却作業や活用促進などに取り組む地区や期間を定めるもので、早急に望む。

空き家の活用方法で、福岡

県中間市では、65歳以上の高齢者が持ち家を空き家バンクに登録して、福祉施設などへ住みかえる場合、引っ越し費用や家財処分費用を助成する、住み替え補助金制度を設けている。今まで人が住んでいたので中もきれい。黙っていると本当に人が住めなくなる。これは、空き家バンクの登録数を増やすことになり、新しくよそから来る人に貸して、人口減対策としても有効だと中間市は考えているようだが、雲仙市は。

岸川総務部長 庁内で協議

学校にエアコン設置を



教室の扇風機

坂本教育次長 学力向上の

矢崎議員 生徒は極寒、猛暑の中で学習している。エアコン設置は早急にやるべきだ。なぜ、設置の方向で検討しないのか。

山野教育長 費用が多額になる。生徒の健康面でも扇風機、ミストシャワーで対応している。暑さ寒さも一時期である。今後、多方面から研究する。

教室にエアコン設置を



やざき かつみ
矢崎 勝己 議員

ためのICT教育の導入や外壁等の整備を優先して実施している。

金澤市長 教育委員会の協議をみながら総合教育会議で上げ、意見交換する。

矢崎議員 他市に比べて大変遅れている。他市は同様な理由を克服し、設置している。一日も早い設置を求める。

矢崎議員 バスや電車にも使え、もっと使い勝手の良いものにできないか。百円、二百円券の導入はできないか。

タクシー助成制度の改善を

長田健康福祉部長 現行の事業の推移を見ながら研究していきたい。

道路行政 アンケートに寄せられた箇所の視察で改善を要する箇所がみられた。特に市道千々石野田線の舗装面の傷みの改修工事はどうなるか。

松本建設部長 状況を見ながら維持管理していく。野田線は本年度と次年度で計画している。

矢崎議員 状況を見ながら維持管理していく。野田線は本年度と次年度で計画している。

千々石海岸防災対策は

山本議員 健康寿命を延ばすには、食事・運動・プラス思考が大事と考えるがその対策は。

健康寿命の延伸対策は



千々石海岸

秋山産業部長 来年度予算で、海岸の機能診断を実施して、適正な改修計画策定を図りたい。

高潮対策の事業計画は



やまもと まついち
山本 松一 議員

山本議員 高潮対策住民アンケートからすでに3年を経過しているが、台風時に不安を持つ市民もいるので、早急な高潮対策はできないか。

少子化対策は

山本議員 妊娠・出産しても仕事に復帰できるよう、育児休業の期間を延長するよう現在働いている職場や、雲仙市内外の企業に対して、提案してはどうか。

金澤市長 育児休業制度については、現在、市内企業に月2回メールによる情報提供を行っている。まずは、メール配信を活用して周知を図りたい。

長田健康福祉部長 雲仙市健康増進計画を策定し、疾病予防と健康増進に取り組んでいる。

山本議員 競技経験が無くても誰でも参加できる軽スポーツを普及し、生きがいを持つことで健康寿命が延びるのではないか。今後の大会は、部単位でなく、教育委員会・福祉部一緒になってやってはどうか。

長田部長 教育委員会とも情報共有して連携した取り組みをしたい。

ミサイル訓練は必要か



うえだ あつし
上田 篤 議員

軍事ではなく、平和的解決の追及を

上田議員 「国民保護共同訓練」の目的、概要は何か。

金澤市長 他国から弾道ミサイルが発射され、一本が市内に着弾したという想定

の訓練だ。

上田議員 弾道ミサイルには破壊力の大きな核弾頭や生物、化学兵器などが搭載される。それが自衛隊基地もない農村地帯である雲仙市に撃ち込まれる可能性があるのか。

山本市民生活部長 「万が一」の備えだ。

上田議員 「戦時中は防空訓練が毎日あったが、原爆には何も役に立たなかった」という意見もある。軍事衝突で

はなく、あくまでも平和的解決を追求するべきだ。

長浜海岸の越波対策工事は効果があるのか

上田議員 長浜海岸の越波対策工事は「効果がないのでは？」という声もあるが。

松本建設部長 有明海から強風等による越波等により、走行する車両等への被害、事故を軽減する目的の工事である。工事はまだ残っているが、完成すれば効果は大きいと思う。

上田議員 「越波」と「しづき」との違いはどうか。

松本部長 越波は防波堤を乗り越えてくる波で、しづきは霧状に風で持っていられるものだ。工事ではしづきによる塩害は考えていない。

上田議員 沖合に消波ブロックをおく「離岸堤」は検討したか。

松本部長 県は最適な工法として今の工事を行っている。

は、完成すれば効果は大きいと思う。

産婦健康診査導入を！



ひらの としかず
平野 利和 議員

産婦健康診査導入を

平野議員 産後うつ等の予防や新生児への虐待予防を図る観点から、国が平成29年度から創設している産婦健診の導入を求める。

長田健康福祉部長 現在、医療機関ごとに健診内容等に違いがある。できるだけ多くの医療機関で国の補助対象となる全ての項目等を統一した形で実施できるよう、県や関係医療機関へ協力を求めている。

産後うつ等の予防や新生児への虐待予防を図る観点から、国が平成29年度から創設している産婦健診の導入を求める。



千々石海水浴場対策は

平野議員 以前の一般質問で、千々石海水浴場の防災対策を質問している。再度、地元より早期の対策を尋ねられたが、市としての検討状況を尋ねる。

金澤市長 台風などにより高波が防波堤を越え、住宅へ打ち寄せる被害が発生しており地元より越波対策の要望をもらっている。アンケートを取りその結果、離岸堤要望が63%、護岸かさ上げ14%、消波ブロック13%となり、離岸堤設置の要望に意見が統一された。結果を受け離岸堤設置の可能性について検討。離岸堤整備をする場合、総事業費約96億円となり、早期着工は難しい。しかし、市民皆様の不安を解消する必要があることから、海岸保全の機能診断を来年度実施し可能な対策工法を研究する。

秋山産業部長 地元自治会への説明を日程調整して、早急に行っていく。

島原鉄道の事業再生は



うらかわ やすじ
浦川 康二 議員

事業再生の経緯・概要は

浦川議員 島原鉄道が事業再生に至った経緯は。

金澤市長 半島地域の人口減少等の要因として長期的に業績が低迷している。加えて雲仙普賢岳の噴火災害や鉄道路線の一部廃止、更には熊本震災の影響等もあり、業績の悪化に拍車がかかっている。島鉄は主力金融機関と協議の上、長崎自動車にスポンサーを依頼し、連名で地域経済活性化支援機構に再生支援を申請した。

浦川議員 島鉄の今後の事業再生の概要は。

松田地域振興部長 長崎自動車と支援機構は1億8000万円の第3者割当増資を行

い、議決権割合で90%超の株式を取得するとともに長崎自動車と支援機構から経営人材を派遣し、経営管理体制を強化する。

浦川議員 事業再生の中で、顧客目線で営業力の強化として現状の交通網を維持するだけでなく、路線の見直しやダイヤ再編が計画されているが、地域住民の日常的な移動手段はこれまでどおりに確保できるのか。

金澤市長 現時点でも鉄道とバスの重複路線の見直しなどが検討されており、市としては引き続き利用者の目線で島原鉄道沿線自治体と協議を進めている。



再生をめざす島原鉄道

公共施設総合管理計画



はやし たつき
林田 哲幸 議員

公共施設総合管理計画の現在の状況は

林田議員 現在の状況をたずねる。

金澤市長 市内全施設について個別計画策定のための施設検討資料及び個別施設計画の策定スケジュールの作成を終え、資料の精査を進めている。また、平成29年度中に個別計画を策定する必要がある施設については、関係課による検討部会、公共施設等総合管理計画推進委員会で検討を進めている。

林田議員 市立小浜体育館の計画はどうなっているのか。

山野教育長 検討部会においては、複合化することが可能と思われる部署の担当課長等で検討、審議をした。その

中では、小浜公会堂、小浜町文化館の講堂部分を集約化し、効率化を図ることが妥当という意見があった。総合管理計画推進委員会では、検討部会での協議をもとに審議がなされ、コスト削減を図るため、近隣施設の小浜公会堂、小浜町文化館の講堂部分を集約化し、老朽化した小浜体育館を新たに建設すること、また、将来、リフレッシュセンターおぼまの大規模改修が到来した場合は複合化も検討すること、そしてまた、建設候補地や施設規模については、推進委員会の協議内容をもとに進めていくなどの意見があった。その審議結果を受け、現在、学識経験者やスポーツ・文化関係団体及び地元自治会代表等で組織する小浜体育館建設検討委員会において、提案、協議していただいている。

その他の質問

- ・ 下水道料金について
- ・ 浄化槽の適正な管理について
- ・ 空き家対策について

金浜地区の信号機は

金浜地区の信号機は



さかい きょうじ
酒井 恭二 議員

酒井議員

県道小浜北有馬線のバイパスの開通で、市道小浜旧県道線と国道の交差点の交通量は激減したのに、以前のままでの信号機の稼働は不思議に思うが。

金澤市長

平成24年7月20日の開通に伴い交通量は少なくなつたと推察しているが、雲仙署に確認したところ、道路事情と地元自治会より既存の信号機は残してもらいたいという要望があり、現在の状況になっている。

酒井議員

地元の要望に反する信号機をなくすという考えではない。頻繁に通る者にとって、通行車両がないのに、信号機に止められるので、感知式にできないか。

山本市民生活部長

地元自

今回の国政及び市議会議員選挙は

治会や利用者より要望があれば、地元警察署へ伝え、市も一緒に取り組みたい。

酒井議員

選挙管理委員会が担っている職責は。

進藤選挙管理委員長

各種選挙の公平・公正な執行である。

酒井議員

今回どのような理由で市議選の日程を衆議院選挙日に繰り上げられたのか。

進藤委員長

2週続けての投票となれば、有権者の方に負担をかけ、結果、投票率の低下の懸念と、同日執行による市議選の経費削減効果を図る為に繰り上げた。

酒井議員

諸事情により南串山支所の投票所がプレハブでの実施であったが、狭い為に有権者へ負担増、又公平・公正な選挙の実施に支障があったのではないか。

松田地域振興部長

臨時的な措置とはいえ有権者への配慮不足と選挙の秘密保持の観点から問題があったと捉えている。

小学生のみなさんが

議場見学

吾妻町川床小学校2年生の皆さんが、生活科見学で市役所を訪れ、議場を見学されました。



議会のうごき



10月8日（日）

平成29年度雲仙市防災訓練

雲仙市防災訓練が国見町多比良港埋立地で開催され、11名の市議が出席しました。

今回の想定訓練は、自治会や各種団体の参加協力のもと、住民避難や初期消火、非常食炊き出し訓練等が行われました。

この訓練が良い体験となり、更なる防災力強化が図られることを期待いたします。

12月17日（日）

平成29年雲仙市表彰授与式

雲仙市表彰授与式が吾妻町ふるさと会館で開催され、元村議長が祝辞を述べました。

当日は、多くの市議会議員も出席し、徳功・地方自治・社会福祉・産業・教育文化・保健・環境・消防・交通安全などの分野において尽力された方々や各種スポーツ等の全国大会などにおいて活躍し、優秀な成績を収めた方々の功績を称えました。



1月4日（木）

平成30年雲仙市成人式

雲仙市成人式がハマユリックスホールで開催され、元村議長を始め多くの議員が参加致しました。今年の成人式では対象者510名の内、約420名が出席し成人としての門出を祝いました。成人式を迎えられた皆様方の益々のご活躍を祈念致します。

1月5日（金）

平成30年雲仙市消防出初式

雲仙市消防出初式が小浜町体育館において、多くの消防団員参加のもと、盛大に開催されました。

消防団員が生業の傍ら、地元住民のために日夜を問わず防火活動にご尽力されておりますことに感謝申し上げます。

消防団員の皆様方の今後益々のご活躍をご祈念致します。



? ご存知ですか? ?

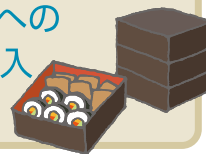
昨年10月に、市議会選挙が行われましたが、「公職選挙法」についていくつかの質問がありましたので、基本的な考えを紹介します。

政治家の寄附は禁止、 有権者が求めることも 禁止されています

秘書等が代理で
出席する場合の
結婚祝



地域の運動会・
スポーツ大会への
飲食物等の差入



お祭りへの
寄附・差入



町内会の集会・
旅行等の催物への
寸志・飲食物の
差入



みんなで徹底しよう
三ない運動

贈らない!

求めない!

受け
取らない!

これらのものも、政治家の寄附禁止の
対象となります。

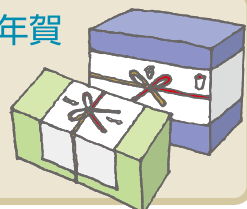
落成式・
開店祝等の
花輪



病気見舞



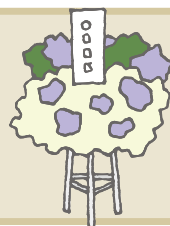
お歳暮・お年賀



入学祝・卒業祝



葬儀の花輪・
供花



秘書等が代理で
出席する場合の
葬儀の香典



議会を傍聴してみませんか？

平成30年第1回雲仙市議会定例会の会期日程（案）は
2月22日（木）～3月20日（火）です

- 一般質問 2月26日（月）～3月1日（木）
- 議案質疑 3月5日（月）
- 委員会
 - 文教厚生常任委員会 3月6日（火）・7日（水）
 - 産業建設常任委員会 3月7日（水）・8日（木）
 - 総務常任委員会 3月8日（木）・9日（金）

※一般質問の日程は、質問者数などにより変わることもあります。
※簡単な手続きで傍聴できますので、議場へ足をお運びください。



編集後記

明けましておめでとうございます。

昨年、雲仙市議会議員選挙が開催され、新しく19名の議員が選出されました。さらに、議会広報編集特別委員会の委員が選任され、殆どの委員が新人で、新たな体制がスタートいたしました。

今後も、更なる、広報紙の充実を目指し、よりわかりやすく、より多くの皆様に読んでいただけるような紙面づくりに励んでまいります。市民の皆様にとって縁起のいい1年となりますようご祈念申し上げます。

（渡辺 勝美）



議会広報編集特別委員会

委員長 渡辺勝美
副委員長 平野利和
委員 矢崎勝己、大山真一
山本松一、藤本淳次郎

時の人

バスケットボールBリーグ

たなか だい き
田中 大貴氏

（雲仙市小浜町出身）

「雲仙ふるさと大使」就任



本市小浜町出身で現役日本代表プロバスケットボール選手の田中大貴氏が「雲仙ふるさと大使」に就任しました。

田中氏は小学校時代からバスケットを始め、現在はプロチーム「アルバルク東京」に所属し、日本代表にも選ばれています。

平成29年12月9日に行われた就任式で、金澤市長は「バスケットを通して夢や希望を与えてもらっている。これからも力を込めて応援していきたい」とあいさつされ、田中氏は「地元の方々に応援していただくのはありがたい」と応えられました。

市議会としても、今後のご活躍を期待いたします。

お知らせ

「議会だより」へのご意見ご感想がありましたら、議会広報編集特別委員会（議会事務局）までお寄せください。



この印刷物は、環境に配慮し再生紙と揮発性有機化合物を一切含まないNON-VOCベジタブルインキで印刷されています。